

# 低温発火による火災に注意！

## 🏠 低温発火とは？

コンロやストーブなどの強い熱源が近接し長時間熱を受け続けている場合。木材から水分が奪われ、壁内部の木材は炭化状態になっていきます。その結果、100℃前後の低い温度でも木材内部に蓄熱が起これ、ついには発火温度にまで達し燃えだす。このような現象を低温発火と言います。

**低温でも火事の大惨事を  
招く危険性があります！！**

## 🏠 発生しやすい場所

コンロなど加熱調理器具がある台所等の壁  
煙突が貫通している壁や屋根

## 🏠 「低温発火」火災防止するには

- ①コンロと壁の間に適正な間隔を取る  
※火災予防条例で定められた距離を確保する
- ②距離が取れない場合はコンロ周りに防熱版を設ける
- ③コンロにかけた鍋が壁などに接触しないように適正な間隔を取る
- ④煙突の貫通部には「めがね石」を入れる
- ⑤万が一に備えて消火器などの初期消火器具を備え付ける



**あなたの家は大丈夫！**

